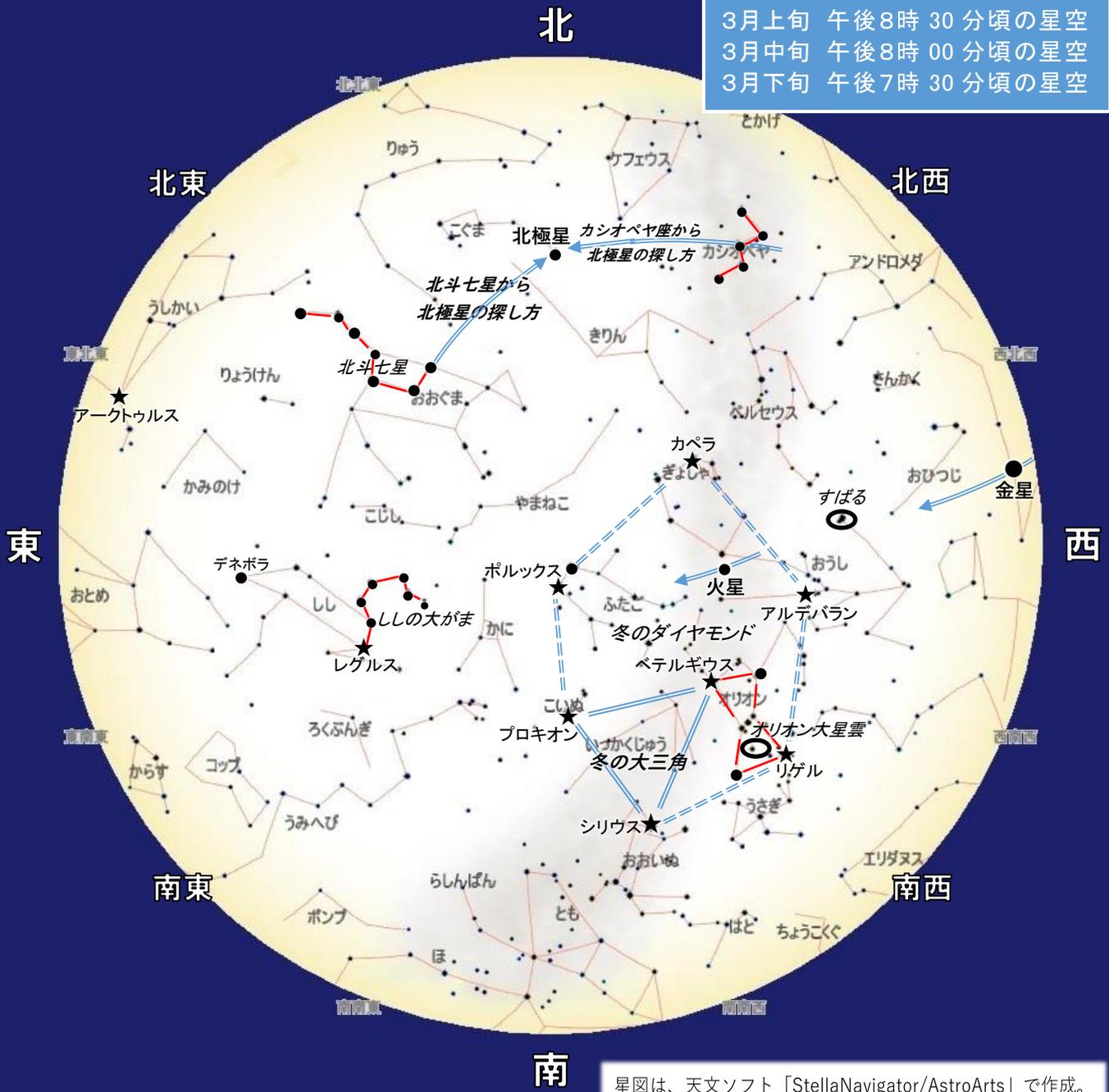


2023年 3月の星空案内



3月上旬 午後8時 30 分頃の星空
3月中旬 午後8時 00 分頃の星空
3月下旬 午後7時 30 分頃の星空



星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成。

【3月の星空】

冬の星座の1等星、オリオン座の「ベテルギウス」「リゲル」、おうし座の「アルデバラン」、おおいぬ座の「シリウス」、こいぬ座の「プロキオン」、ふたご座の「ポルクス」、ぎょしゃ座の「カペラ」が空高くにぎやかに輝いています。(ベテルギウス以外の6つの1等星をつなぐ点線を「冬のダイヤモンド」といいます)

東の空からは、春の1等星の先駆け、しし座の「レグルス」が昇ってきます。しし座の目印は、はてなマーク(?)を左右逆にしたような『ししの大がま』です。

【夕空の惑星や月】

夕方の西の空に目立ってきた金星ですが、夏まで「明けの明星」として輝き続けます。2日の夕方には、惑星の明るさナンバー1「金星」とナンバー2「木星」が超接近し、その角度は0.5度。望遠鏡でも同一の視野に入るほどです。また24日の夕方には、細い月と金星が大接近します。三日月のお皿に金星が乗ったような面白い星空が見られそうです。(金星と火星についている矢印は「月はじめ⇒月末」の動きです)